

Kanachu

神奈川中央交通株式会社様 (神奈川中央交通グループ)



乗合バス事業を中心に不動産事業、ホテル業、
飲食・娯楽業など様々な事業を展開
交通インフラ事業者としてリスクマネジメント体制の
充実に向けグループ会社全社へFFRI yarai導入予定

神奈川中央交通株式会社様（以下、敬称略「神奈川中央交通」）は、神奈川県内のほぼ全域及び東京都の一部を営業エリアとし、「神奈中バス」として地域の皆様に親しまれる乗合バス事業を中心に、不動産事業、ホテル業、飲食・娯楽業など、様々な事業を手がけています。

同社の事業環境は2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた経済波及効果が期待されることや女性の社会進出、自動運転車の実用化、さらなるIT化の進展などの事業機会の到来が予想されています。このような中で創立100周年（2021年）に向けて事業基盤を強化すべく、現在推進している「神奈中グループ中期経営計画（2015年度

～2017年度）」に加え、次期の中期経営計画（2018年度～2020年度）と合わせた6年間で成長するための施策を実施し、経営基盤を一層強化し収益力の向上を図るとともに、サイバーセキュリティ対策を含むリスクマネジメント体制の充実に図ることにより企業の社会的責任を果たすことで、社会から信頼される企業グループの確立を目指しています。

神奈川中央交通では、同社・総務部とグループ会社である株式会社神奈中情報システム（以下、敬称略「神奈中情報システム」）のメンバーが定期的にミーティングを行い、同社の情報セキュリティ規程に基づき、社内ITやサイバーセキュリティ対策の課題の検討を進めてきました。

導入の背景

標的型攻撃メールの増加の一方で パターンマッチング型のアンチウイルス ソフトでは防御が難しい点が懸案

神奈川中央交通ではパターンマッチング型のアンチウイルスソフトと合わせて暗号化・情報持ち出し対策等も実施していましたが、2016年ごろから標的型攻撃メールやランサムウェアの増加が顕著に見られたことから、パターンマッチング型のアンチウイルスソフトだけでは未知マルウェアが防御が難しい点が懸案事項になっていました。

「従業員に対しては定期的にメールでの注意喚起を繰り返すなど、標的型攻撃メールやランサムウェアに対する啓発活動を行ってきましたが、システム面での防御の強化も必要と考えるようになりました」（総務部 小林氏）

「パターンマッチング型のアンチウイルスソフトでは、どこかで未知マルウェア感染の被害者が出た後で、ベンダーからユーザーにパターンファイルが配信されてくる仕組みです。パターンファイルが配信されてくる前に弊社グループのユーザーが1回でも標的型攻撃メールのURLや添付ファイルをクリックしてしまえば、その時点で未知マルウェアに感染してしまう可能性があるという点にかなりの危機感を抱いていました」（神奈中情報システム 井出氏）

そこで、既に採用していたパターンマッチング型のアンチウイルスソフトと組み合わせて多層防御を実現するための対策を検討することになりました。



導入の経緯

「エンドポイント製品」 「単体で使える振る舞い検知」 「国産」であることに注目

当初はFFRI yaraiとは別のエンドポイント製品やネットワーク上で監視を行うアプライアンス製品も検討しましたが、いずれもインターネット上のサンドボックスからマルウェア情報を取得する仕組みであることから、未知マルウェアに対する防御の面で不安が残りました。また、アプライアンス製品は機器の故障がネットワーク上に及ぼす影響も気になりなっていました。

一方で、FFRI yaraiはパターンマッチング型のアンチウイルスソフトと併用可能な「エンドポイント製品」であり、「単体で使える振る舞い検知」で未知マルウェアを防御可能であることが、未知マルウェア対策の優位性として判断されました。

加えて「国産」である点も高く評価されました。「海外製品では英語のマニュアルが多いですが、国産なら日本語であり、サポートも迅速で充実していると感じました」（井出氏）

導入の効果

パターンマッチング型アンチウイルス で検知不可の不審なファイルを 事前評価段階で検知済み

事前評価の段階でもパターンマッチング型のアンチウイルスソフトでは検知できていなかった不審ファイルをFFRI yaraiでは検知できていたそうです。

「事前評価は全システムが問題なく動くかどうか、現状の作業が損なわれないかどうか等の確認を主な目的で行っていましたが、幸いなことに悪さをするようなものではなかったのですが、事前評価段階でもFFRI yaraiだけが不審ファイルを検知できていたのは、大きな安心感につながりました」（井出氏）

現在、FFRI yaraiは神奈川中央交通、神奈中情報システムおよびグループ会社の一部で導入済みですが、今後は神奈川中央交通グループ全社にも展開し、グループ全体で同じセキュリティレベルを保つ予定とのことです。

「管理コンソールで全台のバージョンアップ等ができるのは、便利だと感じました。グループ全体に展開した際にはマルウェア収集機能等、管理コンソールを利用してその他の遠隔メリットもぜひ利用していきたいです」（井出氏）

今後の展望

エンドポイントの多層防御を実現 交通インフラ事業者として さらなるセキュリティ対策の強化を図る

「航空、鉄道に準じて交通インフラを支えるバス事業者としてサイバーセキュリティ対策が求められていると感じています。そのために何ができるか、何をしていくべきかを考えていきます」（小林氏）

エンドポイントではパターンマッチング型のアンチウイルスソフトとFFRI yaraiで多層防御が実現できたため、今後は標的型攻撃メールの入口対策等によるリスク軽減や、ネットワークでのデータ確認も視野に入れ、さらなるサイバーセキュリティ対策の強化を図っていくとのことです。



（左から）神奈川中央交通 総務部総務課庶務係長 西 義景氏、総務部次長 小林 昭司氏、神奈中情報システム システム部部长代理 井出 光紀氏、システム部運用サポート課課長 武野 誠史氏

▶導入事例に記載された情報は初回掲載時(2017年10月)のものであり、閲覧・提供される時では変更されている可能性があることをご了承ください。導入事例は情報提供のみを目的としています。当社は、明示的または暗示的を問わず、本内容にいかなる保証もいたしません。

▶製品・サービスについてのお問い合わせは

株式会社 F F R I

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-18-18 東京不動産恵比寿ビル4階

TEL: 03-6277-1811 E-mail: sales@ffri.jp

本製品に関する情報はインターネットでもご覧いただけます。

<http://www.ffri.jp/>

■このパンフレットの内容は改良のために予告無しに仕様・デザインを変更することがありますのでご了承ください。

2017年10月現在